

高松市教育委員会

高松市立塩江小学校

1 実践のテーマ

自ら考え自ら行動し、「たくましく未来を創る」子どもの育成
～塩江プライドの醸成を目指した食育指導～

2 目標

「食育」を通して地域の特産物を知り故郷に誇りを感じることで、児童がたくましく生きる土台を創り、さらに故郷塩江を愛し盛り上げる活動を企画し実行していくことで、力強く未来を切り拓いていく児童を育成する。

3 内容

① ふるさと教育「ねむのき学習」 3・4年生の取り組み

3・4年生は、「塩江そばの会」の協力を得ながら、高嶺ルビーという品種のそばを学校前の畑で栽培している。また、塩江茶を栽培している農家で茶摘みを体験させていただいたり、炭谷ごぼうの収穫をさせていただいたりしている。収穫したごぼうは、給食で全校生も食べさせていただいた。1月には、自分たちが育てたそば、いただいた塩江茶とごぼうを使って「塩江絶品定食」を高松市食生活改善推進協議会の協力を得ながら作り、それまでお世話になった地域の方にふるまう活動を毎年行っている。



＜ 塩江茶の茶摘み＞



＜炭谷ごぼうの収穫＞



＜塩江絶品定食＞

② ふるさと教育「ねむのき学習」 5・6年生の取り組み

5・6年生は、今までに行ってきた「ねむのき学習」のまとめとして、塩江の良さをアピールする「ねむのきイベント」を毎年12月に行っている。今年度は、塩江茶と塩江の特産物である黒豆を使った「塩江ビスコッティ」を地域のお菓子屋「光春堂」とコラボ開発して販売した。他にも、塩江の竹で作った竹細工に加え、地域の良さをデザインした手拭いも販売している。販売する機会も、マラソン大会や学習参観に加え、丸亀町壺番街でも設けることで、塩江の良さを高松市全体に広める取り組みを行っている。

＜ねむのきイベント＞



4 成果と課題

成果としては、子どもたちが地域の方と活動を共にすることで、子どもたちの塩江プライドを醸成することはもちろん、地域の方々の励みにもなっているようである。しかし、地域の方の高齢化と子どもたちの人数減少は、解決が難しい課題となっている。郷土に誇りを持つ教育を推進する前提として、学校だけでなく、塩江町全体を盛り上げる取り組みが必要である。